

- 系 統 2液型エポキシ樹脂系モルタル
- 特 長 1) 物理的強度や化学的性能および耐久性に優れる。
2) コンクリートへの接着性や耐薬品性に優れる。
3) 耐衝撃性および耐摩耗性に優れる。
- 用 途 1) 耐衝撃性や耐摩耗性が要求されるサイロホッパー部やダム排水路エプロン下部等の補修
2) プレス機械据付け台座の空隙や大きなひび割れやジャンカ等の充てん

配 合 比

種 類	結合材	骨材*		顔料 (着色する場合)
	#303A	接着剤用 硅砂4号	接着剤用 硅砂7号	
SBモルタルA (1:4)	10kg	20kg	20kg	1袋
SBモルタルA (1:5)	10kg	25kg	25kg	1袋

※必ず当社指定の「接着剤用硅砂4号」、「接着剤用硅砂7号」を使用してください。

使 用 材 料

- #303A…10kgセット (主剤+硬化剤)
- 接着剤用硅砂4号…25kg/袋
- 接着剤用硅砂7号…25kg/袋
- 顔料 (標準色: グリーン、ライトグリーン、グレー、ブラウン、ブラック) …0.1~1.0kg/袋
※着色する場合に必要。標準色以外の色については、お問い合わせ下さい。

可使時間の目安
養生時間
(SBモルタルA)

結合材のタイプ		冬 用 (W)			夏 用 (S)		
温 度 [℃]		5	10	20	15	20	35
可使時間 [分]		90	70	30	40	30	9
養生時間 [時間]	1:4	72	48	24	48	16	6
	1:5	72	48	24	24	16	6

※圧縮降伏強さが24N/mm²以上となる時間を養生時間とした。

注) 早期に強度を発現させたい場合は、加温養生してください。

比 重

- SBモルタルA (1:4) 1.95±0.10
- SBモルタルA (1:5) 2.00±0.10

使 用 方 法

- #303Aをセット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。
- 主剤と硬化剤を、攪拌機を用いて均一になるまで混合攪拌する。
- SBモルタルAを着色する場合は、樹脂に顔料を添加し、さらに均一になるまで混合攪拌する。
- 骨材を所定の配合で、モルタルミキサー等で混合攪拌する。
- 混合した骨材に、攪拌しながら#303Aを加え、均一になるまで攪拌する。
- モルタル敷設面にプライマーとして#303Aを塗布する。
- プライマーの硬化前に、モルタルをコテなどで転圧しながら、所定の厚さに仕上げる。

使用上の注意

- 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)
- 可使時間内に作業を終了する。
- シンナーや水を混入して使用しない。
- 低温時には、#303Aの主剤や骨材をジェットヒーター等により加温すれば、混合が容易になり、養生時間も短縮することが可能となる。
- 施工後、降雨や濃霧等の恐れがある場合には、シート等を被せて養生を行う。

注意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド#303Aの安全データシート(SDS)を参照してください。